

熊本高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語II
科目基礎情報						
科目番号	LK2206			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	制御情報システム工学科			対象学年	2	
開設期	通年			週時間数	4	
教科書/教材	Globe English Communication II, Database 4500, FACTBOOK English Grammar, HyperListening Intermediate, 教員作成ハンドアウト					
担当教員	松尾 かな子,光永 武志,Ambrose Richard					
到達目標						
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばせる。 具体的な言語活動は次の通り。 ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行うことができる。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	1. 間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている。 2. さまざまな工夫をすることでコミュニケーションを続けようとしている。		1. 与えられた情報を使って表現しようとしている。 2. 与えられた情報を使ってコミュニケーションを続けようとする。		1. 間違いを恐れ、表現しようとししない。 2. コミュニケーションを続けようとししない。	
外国語表現の能力	1. 情報や考えなどを正確に話したり聞いたりすることができる。 2. 言語材料を使って、文章を話したり書いたりすることができる。 3. 場面に応じた表現・声の大きさや速さが適切である。		1. 情報や考えなどを6～8割程度正確に話したり聞いたりすることができる。 2. 言語材料を使って、簡単な文章を話したり書いたりすることができる。 3. 場面に応じた表現・声の大きさや速さがある程度適切である。		1. 情報や考えなどを話したり聞いたりすることが難しい。 2. 言語材料を使って、文章を話したり書いたりすることが難しい。 3. 場面に応じた表現・声の大きさや速さが適切でない。	
外国語理解の能力	1. 本文を読んで内容を理解することができる。 2. 英文を聞いて、内容を聞き取り、理解することができる。 3. 場面等を正確に読み取ったり聞き取ることができる。		1. 本文を読んで内容を6～8割理解することができる。 2. 英文を聞いて、6～8割の内容を聞き取り、理解することができる。 3. 場面等を6～8割正確に読み取ったり聞き取ることができる。		1. 本文を本で内容を理解することができない。 2. 英文を聞いて、内容を聞き取り、理解することができない。 3. 場面等を正確に読み取ったり聞き取ることができない。	
言語や文化についての知識・理解	1. 言語に対する知識：進出語句や言語材料を正しく理解し、運用することができる。 2. 文法に対する知識：課で扱ったトピックや問題などについて理解することができる。		1. 言語に対する知識：進出語句や言語材料を6～8割正しく理解し、運用することができる。 2. 文法に対する知識：課で扱ったトピックや問題などについて6～8割理解することができる。		1. 言語に対する知識：進出語句や言語材料を正しく理解し運用することができない。 2. 文法に対する知識：課で扱ったトピックや問題などについて理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	週2時間のうち、1. 5時間は検定教科書と文法テキスト、4技能テキストを用い、英語の基本技能（読む・書く・聞く・話す）の習得を目指す。もう0. 5時間は、リスニングテキストなどを使用し、リスニングやスピーキングの授業を行う。通常の定期試験に加え、年3回の英単語コンテストを実施するほか、適宜小テストを行う。予習・復習は必須であり、教員による記入チェックや確認小テストも行う。					
授業の進め方・方法	教科書については、単語と熟語の意味調べ、本文の内容の確認などの予習をする。授業中にメモをとり、復習しやすいノート作成/プリント記入を心がける。各課ごとにハンドアウトを利用して予習と復習を行う。FACTBOOKについては、参考書で学習をし、EXを解いてから授業に臨むこと。普段から身のまわりの英語に関心を持ち、図書館の英語テキスト（多読用Graded Readers）や英語の映画や音楽などを参考にする。『Factbook English Grammar Workbook』については、各自で指示された範囲を家庭学習し提出する。授業では主にリスニングとスピーキングを学習する。					
注意点	規定授業時数（単位時間）：120時間。校内英単語コンテストを年3回実施する。本科目は実用英検、TOEICテストなどの英語試験と関連性が深い。授業中の活動を重点的に評価するため、真剣に取り組むこと。4技能（読む・書く・聴く・話す）を更に伸ばすべく、授業外においても音読練習、課題等、継続して学習に取り組むとともに、日常的に英語に触れておくこと。年間総合評価が60点に満たない場合は、再提出したレポートや再評価試験にて評価する。再評価でも60点に満たない場合は単位を認定しない。事前に授業内容の予習を行うこと。積み重ね科目なので前回の授業内容を確認して授業を受けること。本単位は学修単位であり1単位につき15時間の授業外学修が課される。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス Globe II: L01 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L01	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようになる。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、基本文型や助動詞、to不定詞等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。		

後期		14週	Globe II: L05 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L11	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、過去完了や原形不定詞、関係詞等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		15週	前期定期試験	
		16週	答案返却	
	3rdQ	1週	Globe II: L06 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L12	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係副詞や分詞構文、不定詞の受動態等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		2週	Globe II: L06 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: Review Test 3	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係副詞や分詞構文、不定詞の受動態等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		3週	Globe II: L06 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L13	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係副詞や分詞構文、不定詞の受動態等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		4週	Globe II: L07 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L14	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係副詞や分詞構文、不定詞の受動態等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		5週	Globe II: L07 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L15	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係副詞や分詞構文、不定詞の受動態等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		6週	Globe II: L07 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L16	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係副詞や分詞構文、不定詞の受動態等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		7週	Globe II: L08 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: Review Test 4	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、関係副詞や分詞構文、不定詞の受動態等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		8週	Globe II: L08 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L17	
	4thQ	9週	小テスト（第1週～第8週までの振り返り）	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、現在完了進行形や完了形の受動態、仮定法過去等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		10週	Globe II: L09 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L18	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、現在完了進行形や完了形の受動態、仮定法過去等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		11週	Globe II: L09 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L19	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようにする。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、現在完了進行形や完了形の受動態、仮定法過去等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。

		12週	Globe II: L10 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: L20	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようになる。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、現在完了進行形や完了形の受動態、仮定法過去等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		13週	Globe II: L10 Factbook Workbook: 指示した箇所 HyperListening: Review Test 5	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようになる。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、現在完了進行形や完了形の受動態、仮定法過去等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		14週	Globe II: L10 Factbook Workbook: 指示した箇所	英語のつづりと音との関係を理解し、英語の標準的な発音を聴いて音を模倣しながら、また発音記号を見て発生できるようになる。中学校での既習の語彙や文法事項、構文を定着させる。学習範囲について、現在完了進行形や完了形の受動態、仮定法過去等を理解して、それを用いた簡単なリーディング、リスニング、簡単なライティング・スピーキングができるようになる。
		15週	後期定期試験	
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14

				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
			英語運用能力の基礎固め	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
			英語運用能力向上のための学習	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	前1,前3,前4,前6,前8,前10,前12,後1,後3,後4,後7,後8,後12,後13,後14
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	前3,前6,前12,後7,後8,後12,後13,後14
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	前1,前3,前6,前12,後7,後8,後12,後13,後14

	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	2	前5,前6,後10,後11,後12,後13,後14
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2	前3,前6,前8,前12,後1,後6,後8,後11,後12,後13,後14
評価割合						
			試験	平常点（小テスト・レポート・発表等）	合計	
総合評価割合			60	40	100	
基礎能力			60	40	100	